

# Kirari

南の風はあったかい

私たちのまちで見つけた  
あったかい活動やキラリ人<sup>ひと</sup>を  
ご紹介します。◆ わたしのまちのキラリ人<sup>ひと</sup>

蒔田っ子学援隊 隊長

**佐藤 和夫**さん

◆ 蒔田第二町内会



活動に対する想いを教えてください。

学援隊を発足する前から「地域の子どもたちを守りたい」という気持ちはありました。

子どもたちが安心して学校に通い、毎日笑顔で過ごせるようにしてあげたい…保護者の方や先生方と同じ想いで活動をしています。



蒔田っ子学援隊を発足して2年が経ちましたね。

はい、発足当時は30名程度だったメンバーが今では2倍の60名程度になりました。改めて「地域の力」を感じ、皆さんの御協力に感謝しています。

学援隊の活動は「無理をせず、出来るときに出来る人が」というスタンスで行っているので気軽に参加していただけます。

登下校時の短い活動時間ではありますが、子どもたちや学援隊の皆さんとの交流が私の原動力となっており、以前より健康になりました!!

地域の  
子どもたちを  
守りたい

## 蒔田っ子学援隊 (蒔田小学校エリア)

毎日元気に蒔田小学校へ通う子どもたち。しかし、通学路は、車の交通量も多く、狭くて見通しの悪い危険な箇所もあります。

そんな子どもたちの登下校を見守っているのが「蒔田っ子学援隊」の皆さんです。

この活動により、子どもたちの安全はもちろんのこと地域の安全・安心が守られ、みんなが笑顔で元気に暮らせるまちとなっています。



子どもたちの安全を守る学援隊の皆さん





長年、保健活動推進員として活動されていますが、活動を続ける秘訣や活力を教えてください。

活動を通じて、みんなの力がひとつになる瞬間を感じることができるのと、活動に参加してくれた人が喜んでる姿を見ることが活力になっているのではないかと思います。

地域の健康づくりのため、相手に楽しんでもらうだけでなく、自分自身も楽しむことが、27年間保健活動推進員として活動を続けている秘訣だと思います。



保健活動推進員の活動以外にも、様々な地域活動をされていますよね。大変ではないですか？

はい、高根町東町内会の婦人部や老人会、交通安全母の会、子育てサロンの運営スタッフなど色々な地域活動に携わっています。

こうした活動を通じて、多くの人との繋がりや様々な世代の方との交流が生まれました。また、コミュニケーションの大切さや相手に伝えるための言葉の選び方など、たくさんの学びもありました。「生きているかぎり日々勉強！」ですね。

大変なこともあります、体が元気なうちは地域活動を続けていきたいと思っています。



わたしのまちのキラリ人 びと

南区保健活動推進員会  
寿東部地区 会長

## 宮本 春樹さん

◆高根町東町内会



生きているかぎり  
日々勉強！

## 健康ウォーキング (寿東部地区)

保健活動推進員主催による健康ウォーキング。コロナの影響により昨年は中止を余儀なくされましたが、少しずつ活動を再開しています。

この日は、浦舟地域ケアプラザから大さん橋までの約3kmの道のりをウォーキングしました。出発前には準備体操もしっかりと行います。

地域の健康づくりのリーダーである保健活動推進員は、皆さんが元気で楽しい毎日を過ごせるよう活動を企画して実践しています。



大さん橋を目指してウォーキング